



<パネリスト>



■林家たい平(はやしや・たいへい) 落語家

1964年埼玉県生まれ。武蔵野美術大学造形学部卒業後、林家こん平に入門。92年二ツ目昇進。93年NHK新人演芸コンクール優秀賞受賞、99年国立演芸場主催 花形演芸会銀賞受賞、2000年真打昇進、08年第58回芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞、10年武蔵野美術大学 芸術文化学科客員教授就任、14年一般社団法人落語協会理事就任。日本テレビ「笑点」大喜利メンバーとして活躍。テレビ、ラジオ等でマルチに活躍中。



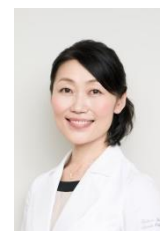
■篠原菊紀(しのはら・きくりの) 脳科学者  
諏訪東京理科大共通教育センター教授／茅野市縄文ふるさと大使

1960年長野県茅野市生まれ。東京大学、同大学院等を経て現職。「学習しているとき」「運動しているとき」「遊んでいるとき」などの脳活動を調べ、幼児から高齢者までの脳トレ、教育、遊びに生かす試みをしている。著書に『「すぐにやる脳」に変わる37の習慣』(KADOKAWA)、『脳活ドリルシリーズ(TJMBOOK)』(宝島社)、「いきいき脳トレ体操」「中高年のための脳トレーニング」(NHK出版)、「ナンプレシリーズ」(永岡書店)、「子どもが勉強好きになる子育て」(フォレスト出版)、他多数。



■喜多俊之(きた・としゆき) プロダクトデザイナー

1942年大阪生まれ。1969年よりイタリアと日本でデザインの制作活動を始める。イタリアやドイツ、日本のメーカーから家具、家電、ロボット、家庭日用品に至るまでのデザインで多くのヒット製品を生む。作品の多くは、ニューヨーク近代美術館など世界のミュージアムにコレクションされている。集合住宅リノベーションプロジェクト「RENOVETTA」提唱。大阪芸術大学教授。2011年、イタリアの「黄金コンパス賞(国際功労賞)」等、受賞多数。2016年、イタリアの「黄金コンパス賞」の審査員を務める。



■中村格子(なかむら・かくこ) 整形外科医師  
医学博士・スポーツドクター／Dr. KAKUKO スポーツクリニック院長

1966年生まれ。各種の日本代表チームドクターとしてアスリートを支える傍ら「健康であることは美しい」をモットーに健康で美しい人生をサポート。2014年春東京代官山にクリニックスタジオをオープン。臨床整形外科医としてのキャリアとトップアスリートの健康管理・指導経験からエクササイズを考案。特別な道具やテクニックは一切必要なく、体力に自信がない人、運動が苦手な人でも安心して取り組めるのが特長。テレビ・雑誌などのメディアでも活躍し、著書も多数。

<座ラボとは> 「座る」を哲学し科学する研究会です。

研究会には、バイクや自動車のシートを50年以上つくりつづけてきたTSテックの、様々な部署から先鋭の若手社員が集まりました。「座る」をイチから議論したり、世の中の「座る」を調査したり、もっと快適な「座る」を追い求め、研究しています。

座ラボ webサイト [www.suwaru.jp](http://www.suwaru.jp)

<会社概要>

社名：ティエス テック株式会社 [ 東証1部 証券コード 7313 ]

設立：1960年12月5日

代表：代表取締役社長 井上満夫

資本金：4,700百万円

本社：〒351-0012 埼玉県朝霞市栄町3丁目7番27号

事業内容：四輪車用シート、四輪車用内装品、二輪車用シート、二輪車用樹脂部品等の製造販売



<参考>

■「座ラボ」ホームページが10月14日(金)より、2016年版にリニューアル!

ティ・エス テックの若手社員で構成された「座る」を哲学し科学する研究会「座ラボ」のホームページが、10月11日(火)からリニューアルいたしました。これまで通り、さまざまな分野の第一線で活躍される方へのインタビューを配信。人間の基本姿勢である「座る」について様々な角度から考察し、「座る」を通じて見えてくる未来や、新しいアイデアをご紹介します。さらに、座ラボ研究生それぞれが考える「座るとは.....」を掲載していきます。

インタビュー掲載予定ゲスト

- ・ 苫米地 英人 / 認知科学者 「人間の脳を巡る過去と未来。長い時間軸の中で「座る」をとらえ直す」
- ・ 甲野 善紀 / 古武術・身体技法研究家 「タイトル未定」
- ・ 生田 佳那 / タクシードライバー 「タイトル未定」
- ・ 武田 邦彦 / 環境学者 「タイトル未定」

ほか順次配信予定。

